

米国科学財団、一部の研究支援において申請書提出件数を制限（5月）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）の生物科学局（Directorate for Biological Sciences : BIO）副局長が関係者向けに送付した書簡より、2011年9月から、同局の分子・細胞生物学部門（Division of Molecular and Cellular Biosciences）における研究資金の申請・評価プロセスが変更されることが明らかになった。具体的には、3年ほど前から研究支援申請件数が急激に増加し、これらの研究の評価・審査に係るNSF職員の負担が高まっていることを受けて、BIOでは、研究評価プロセスを効率化し、且つ優れた研究プロジェクトの採択率を高めるため、分子・細胞生物学部門への研究資金申請期間（申請・評価・不採択・再申請のサイクル）を8カ月ごとに区切り、1期間ごとに提出できる申請書を研究者1人につき1件に制限する。同局は、2011年9月6日を最初の申請期限とし、以後、2012年5月21日、2013年1月28日をそれぞれ期限として設定している。

American Institute of Biological Sciences, *Some NSF Programs To Limit Researchers to One Proposal Per Funding Cycle*

http://www.aibs.org/public-policy-reports/2011_05_23.html#031084